

新広島県警察総合通信指令システムの運用開始による 初動警察活動の強化について

1 趣旨・目的

110番通話音声の自動テキスト化、地図連携などの機能を導入することにより、初動警察活動を強化し、県民の安心感の向上を図るもの。

2 現状・背景

現在運用している通信指令システムのリース契約期間満了に伴い、新しい機能を追加するなど、機能を向上したシステムに更新するもの。

3 概要

(1) 対象者

県民ほか

(2) 事業内容

ア 広島県警察総合通信指令システムの更新

(ア) 入札方式

総合評価方式一般競争入札

(イ) 落札業者

日本電気株式会社

イ 主な新機能

(ア) 受理機能の強化

110番通話音声の自動テキスト化及び災害時等を想定した「受理2倍モード」

(イ) 現場対応機能の強化

無線機と連携した高度警察情報通信基盤システム（PⅢ・ポリストリプルアイ）によるライブ映像送信、全方位カメラの搭載、緊急走行時における映像自動取得

(ウ) 署通信室機能の強化

警察内のローカルネットワーク端末と通信指令システムの連携による情報共有

(3) スケジュール

令和6年3月1日から運用開始

(4) 予算（県費）

リース価格：6年総額 16億924万1,040円

(5) 今後の対応

定期的の実戦的訓練を推進するなど、通信指令システムを効果的に活用し、迅速・的確な初動警察活動を強化して県民の安心感の醸成を図る。